

西遠都市圏総合都市交通体系調査

第1回委員会・幹事会合同会議

議事要旨

- 日 時 : 令和4年7月6日(水) 14:00~16:00
- 場 所 : 静岡県浜松総合庁舎第1会議室
- 出席者 :

《委員》

所 属	役 職	氏 名	会 場	web	備 考
埼玉大学大学院 理工学研究科	教 授	久保田 尚	○		
南山大学 総合政策学部	教 授	石川 良文	○		
国土交通省 国土技術政策総合研究所 都市研究部 都市施設研究室	室 長	新階 寛恭		○	
国土交通省 中部地方整備局 企画部 広域計画課	課 長	後藤 明		○	
国土交通省 中部地方整備局 建設部 都市整備課	課 長	大島 常生		○	
国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所	所 長	名久井 孝史	○		
国土交通省 中部運輸局 交通政策部 交通企画課	課 長	—			
国土交通省 中部運輸局 静岡運輸支局	支局長	岡田 英雄			欠席
中日本高速道路株式会社 東京支社 総務企画部 企画調整課	課 長	内田 美範		○	
東海旅客鉄道株式会社 総合企画本部 企画開発部	担当課長	平井 崇士	○		
遠州鉄道株式会社	取締役 運輸事業本部長	小野田 剛久	○		代理
浜松バス株式会社	代表取締役 社長	大久保 公雄	○		
天竜浜名鉄道株式会社	代表取締役 社長	松井 宣正	○		
しずてつジャストライン株式会社	常務取締役	山田 光	○		代理
秋葉バスサービス株式会社	取締役社長	佐野 弘幸	○		
浜松商工会議所	専務理事・事務局長	河合 正志			欠席
静岡県商工会連合会	専務理事	窪田 賢一		○	代理
静岡県 警察本部 交通部 交通企画課	参事官兼課長	久田 英之	○		代理
静岡県 警察本部 交通部 交通規制課	課 長	石川 真	○		代理

所属	役職	氏名	会場	web	備考
静岡県 交通基盤部 道路局	局長	曾根 裕介	○		代理
静岡県 交通基盤部 都市局	局長	飯田 温	○		
浜松市 都市整備部	部長	井熊 久人	○		
浜松市 土木部	部長	伏木 章尋	○		
磐田市 建設部	部長	鈴木 政弘	○		代理
掛川市 都市建設部	部長	松永 努	○		
袋井市 都市建設部	部長	石田 和也	○		
湖西市 都市整備部	部長	小倉 英昭	○		代理
菊川市 建設経済部	部長	中川 敬司	○		
森町 建設課	課長	中村 安宏	○		代理

《幹事》

所属	役職	氏名	会場	web	備考
国土交通省 国土技術政策総合研究所 都市研究部 都市施設研究室	研究官	堺 友里		○	
国土交通省 中部地方整備局 企画部 広域計画課	課長補佐	野村 博		○	
国土交通省 中部地方整備局 建設部 都市整備課	課長補佐	梶原 裕二		○	
国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所 計画課	課長	川島 謙	○		
国土交通省 中部運輸局 交通政策部 交通企画課	課長補佐	宇佐美 有紗		○	
国土交通省 中部運輸局 静岡運輸支局	首席運輸企画専門官	原田 光一郎		○	代理※
中日本高速道路株式会社 東京支社 総務企画部 企画調整課	課長代理	吉田 雄亮	○		
東海旅客鉄道株式会社 総合企画本部 企画開発部	副長	伊藤 健	○		
遠州鉄道株式会社 運輸事業部	部長	諸井 宏司	○		委員代理
浜松バス株式会社 運輸業務課	課長	良知 正規	○		
天竜浜名湖鉄道株式会社 営業部	部長	高木 信哉	○		
しずてつジャストライン株式会社 運行企画部	部長	藁科 孝佳	○		委員代理
秋葉バスサービス株式会社	支配人	鶴藤 圭三	○		
浜松商工会議所 会員共済課	課長	水島 大統			欠席
静岡県商工会連合会	事務局長	吉田 謙二		○	委員代理
静岡県 警察本部 交通部 交通企画課	管理官	鈴木 康之	○		委員代理
静岡県 警察本部 交通部 交通規制課	管理官	杉本 信行	○		委員代理
静岡県 交通基盤部 道路局 道路企画課	課長	山梨 義之	○		委員代理
静岡県 交通基盤部 都市局 都市計画課	課長	望月 康史	○		
静岡県 交通基盤部 都市局 地域交通課	課長	平野 隆広		○	代理※
静岡県 交通基盤部 都市局 街路整備課	課長	佐藤 雅史	○		代理※

所 属	役 職	氏 名	会 場	web	備 考
静岡県 浜松土木事務所	次 長	長谷川 欣之	○		
静岡県 袋井土木事務所	次 長	松岡 宏典		○	代理※
浜松市 都市整備部 交通政策課	課 長	刑部 晶彦	○		
浜松市 都市整備部 都市計画課	次長兼課長	杉石 秀和	○		
浜松市 土木部 道路企画課	課 長	野末 昇	○		代理※
磐田市 建設部 都市計画課	参与兼課長	壁屋 勝彦	○		委員代理
掛川市 都市建設部 都市政策課	課 長	森長 亨	○		
袋井市 都市建設部 都市計画課	課 長	清水 修二	○		
湖西市 都市整備部 都市計画課	課 長	大隅 泰史	○		委員代理
菊川市 建設経済部 都市計画課	課 長	星野 和吉	○		
森町 建設課	課長補佐	緩鹿 英文	○		委員代理
天竜浜名湖鉄道株式会社 営業部	部 長	高木 信哉	○		

※幹事代理

所 属	役 職	氏 名	会 場	web	備 考
国土交通省 中部運輸局 静岡運輸支局	企画調整担当	竹内 大輝		○	
静岡県 交通基盤部 都市局 地域交通課	地域交通班長	萩原 毅		○	
静岡県 交通基盤部 都市局 街路整備課	街路整備班長	大石 泰生	○		
静岡県 袋井土木事務所	都市計画課長	白石 勝浩		○	
浜松市 土木部 道路企画課	G 長	五十嵐 康介	○		

《事務局》

静岡県交通基盤部 都市局 都市計画課 浜松市 都市整備部 交通政策課 一般財団法人 計量計画研究所(IBS)
--

敬称略

1. 開会

【静岡県 都市計画課 影山課長代理】(司会)

2. 挨拶

【静岡県 都市局 飯田委員】

【浜松市 都市整備部 井熊委員】

3. 議事

(1) 西遠都市圏総合都市交通計画協議会規約(案)について

【静岡県 都市局 飯田委員】

～(資料1説明)

- ・ 質問や異議等はなく、本資料の内容で決定

【静岡県 都市局 飯田委員】

～(委員長の選任)

- ・ 磐田市建設部都市計画課 壁屋委員(代理出席)より、埼玉大学大学院久保田教授を委員長に推薦
- ・ 異議等はなく、埼玉大学大学院久保田教授を委員長に選任

(2) 西遠都市圏総合都市交通会計調査について

■ 第5回調査の進め方

【静岡県 都市計画課 神村】

～(資料2-1説明)

【南山大学 石川委員】

- ・ テレワーク実施の有無は個人の裁量よりも企業からトップダウン的に決まることが多い。また、東京や地方都市、職種や業種によっても異なると考えられる。そのため、地域の産業や業態、職種を踏まえ、企業側の将来的なテレワークの意思を把握する必要がある。それによってシナリオに反映しやすくなるのではないかと。

【静岡県 都市計画課 神村】

- ・ 個人のテレワークの頻度やネットショッピングの頻度については調査を予定しているが、それだけでは企業の意向をとらえることはできないため、企業にヒアリングを実施することを検討する。

【埼玉大学大学院 久保田委員】

- ・ アクティビティ型交通行動モデルへの適用にあたり、テレワークの比率の変化によって、行動がどの程度変化するかといった、感度分析をすることも可能か。

【静岡県 都市計画課 神村】

- ・ 可能である。

【埼玉大学大学院 久保田委員】

- ・ 計画の中で自動運転はどのような扱いとするのか。
- ・ 2年以内に急激に普及するとみられているマイクロモビリティなどといった、新しいモビリティについては、どのように考えているか。

【静岡県 都市計画課 神村】

- ・ 自動運転のレベルは現時点では設定しきれていない。今後、評価や分析をする中で自動運転レベルの違いによるシナリオ設定なども検討し、取組んでいきたい。
- ・ マイクロモビリティについても、今後検討に取り入れたい。

【埼玉大学大学院 久保田委員】

- ・ 自動運転やマイクロモビリティを検討している間に技術が進むことが考えられるため、これを確認しながら議論を進めるようにして欲しい。

【秋葉バスサービス株式会社 佐野委員】

- ・ 本調査と各市町で作成されている地域公共交通計画との関係性について教えていただきたい。また、各市町の都市計画との連携がどのようにされるのか、計画同士の関係を教えていただきたい。
- ・ 前回調査時は、対象市町村のDIDの分散が主課題であり、集約型都市構造をいかに実現させていくのかを議論した。交通事業者にとっては、都市の分散が進むほど公共交通で網羅していくことが大変になっていく。公共交通の網羅性を高める観点からも、都市の拡散を防ぐための施策はあるのか。
- ・ 都市が拡散した状態で交通の利便性を高めていくことを求められても、交通事業者としては運転手不足であるため、期待に応えることはできない。地域の目指す方向はどのようなものであるか教えていただきたい。

【静岡県 都市計画課 神村】

- ・ 本調査ではアンケートにより人の動きのデータを収集・分析し、都市圏の目指す都市交通の方向性を検討するものであり、各市町で進んでいる地域公共交通計画とは、連携・調整しながら進めていきたい。
- ・ 人口減少、少子高齢化が起こる中において、コンパクトプラスネットワークの考え方に基づいて、既存のまちや集落になるべく住んでもらい、居住地が公共交通で結ばれることを目指している。また、各地域では立地適正化計画を作成しており、都市機能・居住の誘導を目指している。

【静岡県 都市局 飯田委員】

- ・ 本調査の分析結果を踏まえながら地域公共交通計画の更新を図っていききたい。

■ 計画課題、および調査項目・選択肢 / 実態調査の実施方針 / 参考資料(調査票案)

【IBS】

～(資料2-2、2-3、調査票説明)

【南山大学 石川委員】

- ・ 調査結果について、政府統計では e-Stat などデータ提供をしていることが多くある。本調査では個票データの貸し出しは検討するのか。
- ・ 調査ロットを3つに分け、約3か月の期間で調査をする予定だが、この間における季節変動に対する懸念はないか。また、大規模なイベントは外しているか。
- ・ 個人票の「二輪車または自動車を利用した方」について二輪車はどの交通手段を想定して作成したか。二輪車の表記が一般の人に伝わりにくいので改めた方がいい。

【IBS】

- ・ 個票データの貸し出しは、行政は可能であるが、それ以外は法的に難しい。一方で、アクティビティモデルを用いた推計マスターデータは、総務省が管轄する統計法の対象外になるため、民間の方を含めて貸し出しを検討したいと考えている。
- ・ 本調査はWeb先行型となっており、一般的なPT調査より調査期間は長い、実施期間が9月から11月であり交通調査に適する時期であるため、問題ないと考えている。また、調査期間の天候や社会状況も合わせて把握しておき、影響の有無は確認することを予定している。
- ・ 大規模イベントの開催日と重ならないように日程は設定した。
- ・ 個人票については「二輪車」が自転車、バイク、原動機付自転車を指していることがわかるように改める。

【天竜浜名湖鉄道株式会社 松井委員】

- ・ 資料2-2、p8について、交通事業者の視点からは、愛知県からの利用者の特性も集めることが重要だと考えているが、個人票などの配布対象は西遠都市圏の住民のみという理解でよいか。

【IBS】

- ・ 調査票は西遠都市圏の市町に居住しているものを対象に配布を行う。愛知県などの域外は調査の対象外である。観光などの広域の動きを考えると、都市圏外に居住する人の動きも把握する必要があると考えられる。そのため、ビッグデータなどを用いて都市圏外から流入する人の動きを把握することを検討したいと考えている。

【遠州鉄道株式会社 諸井委員】

- ・ 次回の調査時には電気自動車が普及していると予測されるため、今回調査と比較ができるように、電気自動車の所有に関する設問を加えるのはどうか。

- ・ 近年では、移動スーパー、オンライン診療などの利用者の移動を伴わない活動が増えてきているため、これらを選択肢に設定してはどうか。

【IBS】

- ・ 電気自動車の保有について現段階では設問にないが、今後電気自動車の所有が増加することにより、充電施設の配置の仕方が課題になってくると考えられるため、電気自動車の所有に関する設問についてはいただいた指摘をもとに検討する。
- ・ 移動を伴わない活動について、現在の案では、ネットショッピングとテレワークについての設問を設けているが、オンラインに関する設問について再度検討する。

【埼玉大学大学院 久保田委員】

- ・ 近所の集会場などに来た移動スーパーを利用する場合はトリップとしてカウントされるのか。

【IBS】

- ・ 徒歩で移動スーパーが来ている場所まで行った場合は、移動手段が徒歩のトリップになる。

【埼玉大学大学院 久保田委員】

- ・ 移動スーパーと出前は異なると考えられるが、移動スーパーのようなものが西遠都市圏の市町で頻繁に行われているようであれば、施設の種類の「移動スーパー」を設定することも考えられる。

【IBS】

- ・ 移動スーパーの実態が把握できていないため、どの程度移動スーパーがあるのかを踏まえ、施設の区分を再検討したい。

【国土交通省中部地方整備局浜松河川国道事務所 名久井委員】

- ・ 調査対象者に将来において、どのような交通体系を求めるのかを尋ねる設問はないのか。
- ・ 外国人に対する調査は実施しないのか。

【静岡県 都市計画課 神村】

- ・ 交通体系のビジョンは事務局で議論を行い、その結果を幹事会や委員会で諮り、どのような方向性を目指すかを協議していきたい。
- ・ 外国人への調査は検討していない。

【南山大学 石川先生】

- ・ 個人票の交通手段の選択肢について、「7.レンタカー・カーシェア」とあるが、両者は使われ方が異なるため、選択肢を分割してはどうか。
- ・ 世帯票の仕事の内容の選択肢について、事業者の営業担当はどこに組み込まれるか。また、事務職と営業ではテレワークの有無が異なるため仕事の内容について精査してほしい。

【IBS】

- ・ 個人票の交通手段の選択肢「7.レンタカー・カーシェア」については分ける方向で検討する。
- ・ 営業は「3.販売従事者」に組み込まれることを想定していたが、答えやすくするための工夫を検討する。

【埼玉大学大学院 久保田委員】

- ・ オンラインの働き方がトリップに影響しやすいところそうでないところがうまく区別できるといい。

4. その他

- ・ 次回の会議開催は、今年度末または来年度当初を予定している。

5. 閉会

【静岡県 都市計画課 影山課長代理】

以上